

# 図書だより

令和3年6月17日  
秋田県立視覚支援学校  
図書委員会発行  
No.3

## 梅雨時に読書はいかが？

いよいよ秋田も梅雨入り間近です。梅雨時は、湿度の高いじめじめした日が続きますが、田んぼでは、植えたばかりの苗が青々と成長していく大事な時です。雨音の心地よいリズムは、自然と心を落ち着かせ、集中力をアップさせる効果があるそうです。そんなわけで、梅雨時は、しとしと降る雨音に耳を傾けながら、じっくり読書をするのもいいですね！



## No book, no life ～本は生活を豊かにする～



さて、先日の図書委員会で、今年度の図書委員会のスローガンが決まりました！それは、「No book, no life (ノーブック、ノーライフ) ～本は生活を豊かにする～」です。委員みんなで考えたたくさんの案の中からこのスローガンが圧倒的な支持を受け決まりました。「No book・・・」は、直訳すると「本なしでは生きられない」というような意味になると思いますが、「本は生活を豊かにする」という副題を付けました。様々な本との出会いは、私たちの生活を豊かにしてくれます。未知のことを知る喜び、安らぎを与えてくれる時間、深い思考や踏み出す勇気を与えてくれるなど・・・。図書委員会はこのスローガンのもと、今年度の活動を開始しました。どうぞよろしくお祈いします！

◆新しく購入した本、「谷川俊太郎詩集 すき」の中から一つ詩を紹介します。

かんがえるのって  
おもしろい

かんがえるのって おもしろい  
どこかとおくへいくみたい  
しらないけしきが みえてきて  
そらのあおさが ふかくなる  
このおかのうえ このきょうしつは  
みらいにむかって とんでいる  
なかよくするって ふしぎだね  
けんかするの も いいみたい  
しらないきもちが かくれてて  
まえよりもっと すきになる  
このおかのうえ このがっこうは  
みんなのちからで そだつてく



# 図書委員による今月のおすすめの本 中学部3年 S. Yさんのおすすめの本です！



## 「どこかいきのバス」

井上 よう子 作、文研出版



主人公はある日、おかあさんとけんかをして家を出て行ってしまいました。横断歩道おうたんほどうをかけぬけ、クリーニング屋の角を曲がって曲がって、知らない道を走って、走って…、とうとう息を切らしながら道ばたにすわりこんで泣ないていると、バス停ではないのにバスが止まりました。

行き先は…「どこか」と書かいてあります。

「どうせ家出するんだから、乗のっちゃえ！」と言い、そのバスに乗った主人公はそのバスの異変いへんに気がつきます。さて、どうなるのでしょうか。その異変は皆さんがたしかめてみてください。

旅好きな人におすすめです！

※「どこかいきのバス」は、図書室にありますので、どうぞご利用ください。

## ◆「はらぺこあおむし」の作者、エリック・カールさん亡くなる

世界各国で世代を超えて親しまれている絵本「はらぺこあおむし」を描いたアメリカの絵本作家、エリック・カールさんが、5月23日亡くなりました。91歳でした。エリック・カールさんは1929年にアメリカ、ニューヨーク州で生まれ、「ニューヨーク・タイムズ」のグラフィックデザイナーを経て、1967年に絵本作家としてデビュー。動物や虫といった生き物を豊かな色彩しきさいで描く作風で人気を集め、中でも幼おきないあおむしの成長を描いた「はらぺこあおむし」は1969年にアメリカで出版された後、70以上の言語ほんやくに翻訳され親しまれています。◆ところで、

「はらぺこあおむし」の初版本は日本で印刷されました。当時アメリカには、穴あきのしかけがあり、ページの大きさも様々でユニークなこの絵本を印刷・製本できる会社がなかったからです。※図書室には、「はらぺこあおむし」



の拡大触察本しよくさつ さわ（触れる本）や、「できるかな? あたまからつまさきまで」などもあります。